

「子育て・健康長寿」「地域経済」「防災・減災」

地域で生まれ、受け継がれてきたまちの個性や魅力である「地域の宝」にさらに磨きをかける

待機児童対策など子育て環境の充実や、超高齢社会の到来に備える「子育て・健康長寿」、中小企業の人手不足対策や商店街賑幸（振興）、道後温泉本館の保存修理工事に備える「地域経済」、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、地域防災力の強化や耐震化を着実に進める「防災・減災」という、3つの分野に注力します。



二次元コード

子育て環境の充実や超高齢社会に向けた取り組み 150億円 子どもたちが健やかに成長できる環境の充実と高齢者がいきいきと暮らせる社会へ

子育て環境の充実 待機児童対策・保育の質向上や児童クラブの運営充実のほか、子育て世代包括支援センターの創設など、未来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境をさらに充実します。

待機児童対策・保育の質向上

待機児童解消と保育の質向上のため、定員を超えて1・2歳児を受け入れている施設への助成、入所予約制の導入、求職中で一時預かりを利用する人への助成などを新たに実施します。また、加配保育士事業についても適用期間、対象施設を拡充し、保育サービスの充実を図ります。

児童クラブ運営・児童クラブ室施設整備

昼間、保護者のいない家庭の児童に適切な遊びや生活の場を提供するため、児童クラブを設置し、児童の健全育成を図ります。クラブ運営費のベースアップなどにより、支援員の確保やさらなる質の向上を図るほか、ニーズに応じてクラブ室の整備を進めます。



余土子ども・子育て施設

妊娠・出産支援

妊娠期から子育て期にわたるさまざまなニーズにきめ細かく対応する拠点として「子育て世代包括支援センター」を北条・中島地区を含む市内5カ所に開設します。保健師が全妊婦と面談し、必要に応じて支援を行うとともに、産後うつに関する取り組みなどを実施します。

小児救急医療確保

小児救急医療体制の安定化を図るため、愛媛大学医学部の寄附講座、小児科研修医の実地研修や救急医療の適正受診などの啓発を行います。急患医療センターへ出務可能な医師が高齢化により年々減少していることから、小児科医を確保するため、市外の小児科医が市内で小児科が不足する地域に開業する場合に支援します。



急患医療センター

超高齢社会への対応 高齢者がいつまでも健康（健康）でいきいきと暮らせる温もりあふれる“健幸”長寿社会の実現を推進します。

高齢者いきいきチャレンジ

市などが主催する健康増進につながる取り組みやイベントへの参加などにポイントを付与し、還元する仕組みを作ります。外出機会を創出し、高齢者がいきいきと活動することで機能の低下を防ぎ、健康寿命の延伸を目指します。

地域包括支援センター運営

市内10カ所に設置している地域包括支援センターが高齢者の総合相談窓口として、介護予防や生活支援などの必要なサービスにつなげることで、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援します。



地域包括支援センター西（別府町、味生ふれあいセンター内）

生涯健康づくり推進

松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」に基づき、子どもから高齢者までライフステージに応じた健康づくりや社会環境の整備を図ります。本市が取り組む健康づくり事業に賛同する事業者などと連携して、市民の健康づくりを推進します。

ふれあい・いきいきサロン

介護予防に取り組む住民主体の通いの場を支援し、介護予防活動を地域に広げ、高齢者の心身機能の維持向上を推進します。



ふれあい・いきいきサロン

防災・減災対策に向けた取り組み 47億円 市民が安全・安心して暮らせる災害に強いまちへ

地域防災力の強化

防災士の養成や消防団の機能強化、自主防災組織の充実のほか、小・中学校などへの防災行政無線受信システムの整備や災害用医薬品の確保など、地域防災力をさらに強化します。

防災行政無線受信システム整備（小・中学校・幼稚園・保育所）



大学生防災リーダークラブ

公立小・中学校、幼稚園、保育所に防災行政無線の情報を自動で各教室に伝達させるための戸別受信機を新たに整備し、学校・保育所内の防災環境を向上させます。

災害用医薬品確保

大規模災害発生時に、迅速に医療救護活動を実施するため、救護所などで必要な医薬品を確保します。

応急給水拠点の整備（応急給水栓の設置）（島しょ部）

興居島配水池の耐震化とあわせ、緊急時に効果的な給水活動が行えるよう、指定避難所となる興居島小学校に応急給水栓などを整備します。

耐震化の推進

上水道基幹管路や道路橋の耐震化に加え、一般木造住宅や特定民間施設などの耐震化を支援し、南海トラフ巨大地震などに備えた防災・減災対策を着実に推進します。

東中島地区配水管整備

東中島地区の管路は老朽化が進み、漏水などが発生しているため、主要な配水管を更新し耐震化することで、管路事故のリスクを低減し、病院や避難所などの重要施設までの給水ルートを確認します。

基幹管路の耐震化

大規模地震などで基幹管路が破損した場合、長期間かつ広範囲の断水や二次災害の恐れがあるため、国の耐震基準を満たしていない基幹管路の耐震化工事を重点的に行います。



地震に強いまちづくりを推進

重要施設への給水ルートの確保（配水管の耐震化）

甚大な被害が想定される震災時に重要施設への給水は最優先であり、救護所24カ所への給水ルートの耐震化工事を推進します。

地域経済の活性化に向けた取り組み 27億円 若者の県外流出を食い止め、雇用の受け皿となる魅力ある企業づくりへ

中小企業支援・働き方改革の推進

本市企業の大半を占める中小企業などに対し、人手不足克服に向けた総合的な支援施策「働き方改革支援プロジェクト」を展開します。

人手不足対策緊急支援

女性就業率のM字カーブ解消に向けた人手確保のほか、多様な業種が集まる交流型オフィスの活性化に向けた支援により、外部人材の活用を進めます。またITツールなどの活用による業務の効率化や離職防止に向けた職場環境の改善などを進めます。



中小企業振興円卓会議

中小企業資金貸付

本市の融資制度を活用し、創業資金や設備資金を借り入れた中小企業者を対象に、利子補給制度を創設します。利子補給により、経営の負担軽減を図り、需要や雇用を創出します。

道後温泉地区の活性化

道後温泉本館の保存修理工事の観光資源化に取り組むなど、経済的影響の緩和を図り、道後温泉地区の活性化とにぎわい創出を目指します。

道後温泉活性化

アート事業や道後温泉別館 飛鳥乃湯泉を活用したプロモーションなどで、道後温泉の魅力国内外に発信します。道後温泉本館保存修理工事の観光資源化などに取り組み、経済的影響を緩和します。



平成29年にオープンした道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

道後にぎわいまちづくり

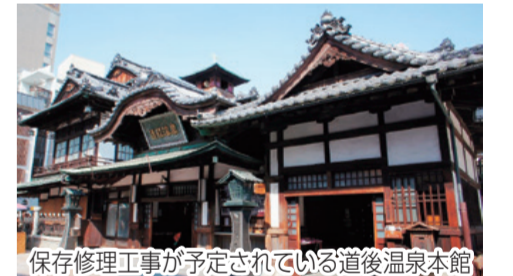
「道後温泉活性化計画」に基づき、道後温泉本館を望む冠山周辺エリアで眺望スポットや足湯、景観を整備し、道後温泉地区の魅力向上やにぎわいを創出します。



足湯（放生園）

道後温泉本館保存修理寄附推進

道後温泉本館の保存修理工事に要する費用について、クラウドファンディングを活用して市内外に広く寄附を募り、本市が誇る重要文化財を未来に遺す機運を醸成します。



保存修理工事が予定されている道後温泉本館

平成30年度に特に注力する事業（主な内容）

☆＝新規事業 ○＝市長公約関連事業

子育て・健康長寿	地域経済の活性化	防災・減災対策
■子育て環境の充実 ・子ども子育て給付（保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育）……………88億8,320万円 ○児童クラブ運営……………9億4,137万円 ○私立幼稚園就園奨励費補助……………3億6,609万円 ☆○待機児童対策・保育の質向上……………1億7,218万円 ○児童クラブ室施設整備……………7,707万円 ・妊娠・出産支援……………3,829万円 ○小児救急医療確保……………3,608万円 ・市立幼稚園預かり保育……………1,417万円	■中小企業支援・働き方改革の推進 ○中小企業資金貸付……………20億6,188万円 ○女性活躍・若年者雇用等支援……………6,556万円 ○松山市民しごと創造ワンストップ支援……………5,337万円 ☆○人手不足対策緊急支援……………4,398万円 ○テレワーク等推進……………3,036万円	■地域防災力の強化 ☆防災行政無線受信システム整備（小・中学校・幼稚園・保育所）…5,803万円 ・非常備消防用車両機械購入……………4,636万円 ○災害用物資資機材整備……………2,230万円 ☆○応急給水拠点の整備（応急給水栓の設置）（島しょ部）【上水】……………969万円 ☆○災害用医薬品確保……………100万円
■超高齢社会への対応 ・地域包括支援センター運営【介護】……………4億436万円 ○ふれあいいきいきサロン【介護】……………8,045万円 ☆○高齢者いきいきチャレンジ……………652万円 ・生涯健康づくり推進……………141万円	■販路拡大・商店街の活性化 ☆○商店街賑幸……………8,733万円 ○まつやま産業まつり……………1,516万円 ・松山市商業振興対策……………1,127万円 ○商店街等活性化……………1,048万円 ○松山圏域中小企業商談力向上……………883万円	■耐震化の推進 ○基幹管路の耐震化【上水】……………29億1,255万円 ○特定建築物耐震改修等補助……………3億2,592万円 ○木造住宅耐震改修等補助……………2億3,954万円 ○重要施設への給水ルートの確保（配水管の耐震化）【上水】……………2億2,404万円 ・消防団ポンプ設置所耐震化……………8,770万円 ☆○東中島地区配水管整備【簡水】……………1,200万円
■道後温泉地区の活性化 ○道後温泉活性化……………1億8,009万円 ○道後賑わいまちづくり……………1億108万円 ・道後温泉本館保存修理寄附推進……………2,879万円		